学　習　の　指　針（シラバス）

教科名	社会科	実施学年	２年	週時数	３時間

１　学習の目標等

学習の目標	【地理的分野】 （１）日本の諸地域の地誌的学習を行う。 （２）地図の読図や作図を通した技能の習得、思考力や表現力を養う。 （３）世界的視野から見た日本、および日本全体から見た日本の地域的特色を理解する。 【歴史的分野】 （１）我が国の歴史の大きな流れを理解し、各時代の特色を理解する。 （２）その時代を大観して表現する活動や各時代の変革の特色から時代の転換を捉え、歴史的事象について考察、判断しその成果を自分の言葉で表現する力を養う。
使用教科書 副教材等	・教科書：東京書籍「新しい社会　地理」「新しい社会　歴史」帝国書院「中学生社会科地図」 ・副教材：浜島書店「つながる歴史」「アクティブ地理」 ・ワークブック：新学社「社会の自主学習」（地理Ⅱ・歴史Ⅱ） ・A4 ノート２冊 ・トラスト（単元別プリント地理、歴史）⇒ファイルにとじる。

２　学習計画及び評価方法等

学期	月	学習内容	学習のねらい	評価	備考
第１学期	4 5 6 7	【地理的分野】 ○身近な地域の調査 ○日本のすがた ○世界から見た日本のすがた ・日本の自然環境 ・日本の人口 ・日本の資源・エネルギーと産業 ・世界と日本の結びつき ○日本の諸地域 ・九州地方	・身近な地域の調査を通して、地図に関する知識と調査および発表の方法を身につける。 ・日本の国土の位置や領域、日本の地域構成を理解する。 ・世界的視野から日本の地形や気候の特色、日本の人口密度、少子高齢化の課題、日本の資源エネルギー問題の現状、交通通信網の発達の様子や物流について理解する。 ・各地方の自然、産業、生活、文化、歴史的背景などについて概観し、基礎的・基本的な知識を身につける。	小テスト 単元テスト レポート点検 ワーク点検 ノート点検 定期テスト	
第２学期	9 10 11 12	・中国・四国地方 ・近畿地方 ・中部地方 ・関東地方 ・東北地方 ・北海道地方 【歴史的分野】 ・ヨーロッパ人との出会いと全国統一 ・江戸幕府の成立と鎖国 ・産業の発達と幕府政治の動き ○開国と近代日本の歩み ・欧米の進出と日本の開国	・各地域の課題を学習し、課題解決の方法を考える。 ・全国統一の過程で、近世社会の基礎が作られたことを理解する。 ・江戸幕府のしくみと政策の変化を読み取り、産業や人々の生活の様子と関連付ける。 ・欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解する。 ・新政府による改革の特色を考え、人々の生活が大	休業中の課題 小テスト 単元テスト レポート点検 ワーク点検 ノート点検 定期テスト	

			きく変化したことを理解する。		
第3学期	1 2 3	○開国と近代日本の歩み ・明治維新 ・日清・日露戦争と近代産業	・新政府による改革の特色を考え、人々の生活が大きく変化したことを理解する。 ・日本の近代産業の発展を大陸との関係、国内外の反応を戦争や植民地化を通して理解する。	単元テスト レポート点検 ワーク点検 ノート点検 定期テスト	

3　評価について

評価の観点及び内容・評価材料

観点	評価の観点及び内容	評価
知識・技能	・地理･歴史に関する社会的事象の意義や特色などを理解し、知識を身につける。基本的なことがらについて正しく認識をしているかを、発表を中心とする授業内の活動、ノートの記述内容、定期テストから評価する。 ・情報を適切に選択･活用し、追求･考察した過程･結果を表現できる。適切な資料を探したり、適切に資料を読み取ったりしているかを発言や資料に基づく調べ学習･レポート等の取り組み状況で評価する。	・小テスト ・単元テスト ・定期テスト
思考・判断・表現	・課題を見いだし、多面的･多角的に考察し、公正に判断できる。社会的事象について正しくとらえているかを、発言、思考ツールを活用した単元のまとめの記述内容、調べ学習で記述内容、発表内容で評価する。また、定期テストの思考･判断･表現の力を問う問題での解答内容も加味する。	・レポート点検 ・定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	・地理･歴史に関する社会的事象に対する関心を高め、社会の担い手としての自覚を持てる。課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしているか、発言、レポート、作業プリントの内容や提出状況、ノート点検の結果などから評価する。また、定期テストの時事問題での解答内容も加味する。	・提出物 ・ノート点検 ・定期テスト ・休業中の課題 ☆授業への取り組み

☆印の項目は、授業に欠席した場合、評価に含めることができない場合があります。